

## 第2学年図画工作科学習指導案



平成28年10月28日(木)5校時  
武蔵村山市立第三小学校  
第2学年1組24名  
教諭 風間綾乃

### 研究主題

「人との関わりを大切にし、豊かに表現できる児童の育成」  
～グローバル人材育成に向けたオリンピック・パラリンピック教育の充実～

### 1 題材名「ようこそ♪ シルエット・ミュージアムへ!!」表現(2)

### 2 題材の目標

オリンピック・パラリンピックの競技シルエットやスクラップを活用し、感じたことや想像したことを着色やコラージュなどの表現方法で作品に表す。

### 3 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
感じたり想像したりしたことを絵に表す活動を楽しもうとしている。	感じたり想像したことを絵に表すために好きな色を選んだり、面白い形を考えたりしている。	・ローラーや刷毛、スポンジで表し方を工夫している。 ・コラージュの素材を工夫して貼っている。	友人の作品を見る、まねるなどしながら、作品のよさや表し方のおもしろさに気付いている。

### 4 指導にあたって

#### (1) 題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作科第1学年および第2学年の内容、表現(2)「ア. 感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと」に基づき設定した。

第1次では、オリンピック・パラリンピックの競技について知ることを中心にした活動を行う。その際、映像を見せたり、実際に競技のポーズをとらせたり、シルエットクイズを行わせたりすることで、オリンピック・パラリンピックで行われた競技をより身近に感じさせる。また、競技ごとに特徴のある体の動かし方やフォームなどを意識させながら、シルエットを活用した製作のテーマにする競技を決めさせる。

第1次から第2次までは少し時間を空け、コラージュで使用する素材を家庭で集めさせる期間を設定する。第2次では、オリンピック・パラリンピックから想像したことや競技から受ける印象、出場国に関することなどを競技シルエットに表現させる。色付けは、ローラーや刷毛、スポンジを用いて行わせる。その後、オリンピック・パラリンピックの競技に関する雑誌の切り抜きのコラージュを行わせる。さらに折り紙や色紙などを使って、何を強調したり、自分の想いを込めた形でデコレーションさせたりしながら作品を製作する。今回の作品は、2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックへの期待を込めた作品という共通認識のもとで製作させ、校内掲示として活用する。

第3次では、友人の作品を鑑賞する。まず、学級で発表の練習を行った後、学年全体で「シルエット・

ミュージアム」をつくる。鑑賞する際、作品と同じポーズをとったり、なんの競技を作品にしたのかをシルエットクイズにしたりして、体全体を使って伝える活動を取り入れる。

この題材で児童に伝えたいことや考えさせたいことは、オリンピック・パラリンピックから感じたことや想像したことを色や形ではどのような表現が可能かということである。

## (2) 児童について

本学級では、多くの児童が図画工作の学習で表現する活動に意欲的に取り組む。ほとんどの児童が、図画工作の学習における達成感を味わうことができているが、想像したことを絵に表したり、思い付いたことをどんどん広げて表現したりする経験をさらに積み重ね、自分の思いを大切にしながら表現する楽しさを十分に味わわせるようにしたい。

第2学年の1学期には、「カラフルこっき de My World!!!」で、自分の国をイメージしたオリジナル国旗作りを行った。第1次では、世界各国の国旗を活用し、国旗に込められた思いや意味への理解を深め、第2次では、色や形に意味や気持ちを込めて製作した。多くの児童が楽しく取り組んでいたが、個別の支援を必要とする児童も数名いる。例えば、自分の想像したことを絵に表すためのアイデアを思い描くことについて難しさを感じている児童や、思い通りにイメージを広げられずに取り組みが雑になる児童である。また、本時では、のりやはさみを使って作品製作を行うが、道具の扱いに課題のある児童も数名いる。本時では、実物投影機で実際の活動を映し、道具の使い方を確認する。また、机間指導の際に個別に支援する。

## 5 研究主題に迫る手だて

### (1) 研究仮説

〔仮説1〕オリンピック・パラリンピック教育の視点から授業の充実を図ることが、児童の視野を広げ、グローバルな社会を生きる人材となる素地を養うことに繋がるであろう。

〔仮説2〕児童一人一人が分かる授業を展開するために授業作りに授業のユニバーサルデザイン化の手法を取り入れ、ねらいの達成から逆算した授業作りを行えば、児童の学習意欲や主体的に学ぶ態度、豊かな表現力を養うことができるであろう。

### (2) 目指す児童像

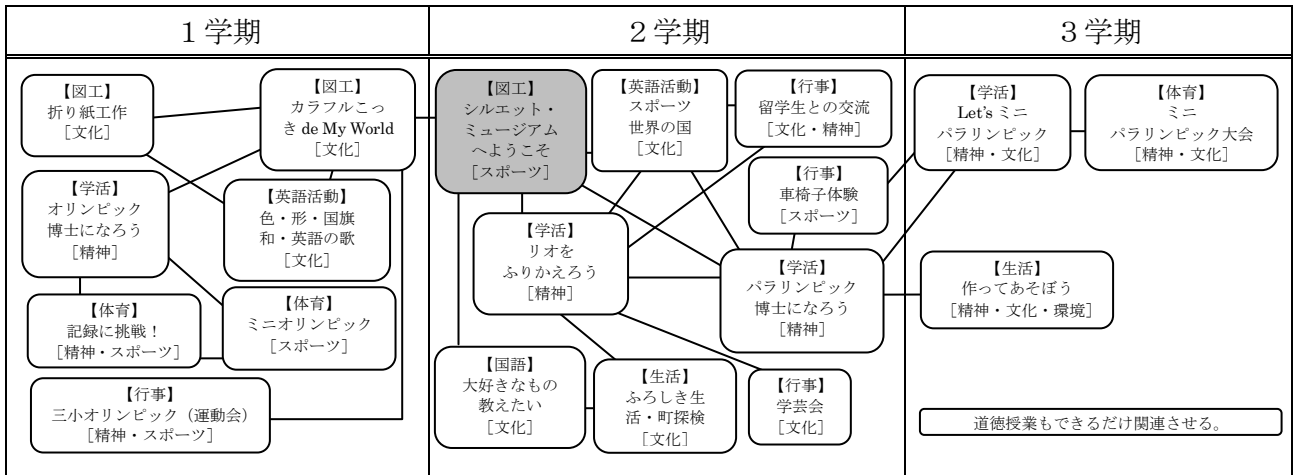
高学年	自他のよさを認め、主体的に相手と関わり合いながら、表現活動を工夫したり、自己の最善を尽くしたりすることができる児童。
中学年	自他のよさを感じ、相手との関わり合いを通して、目標に向かって、主体的に表現できる児童。
低学年	自分のよさを感じ、相手との関わりを大切にして、楽しく表現することができる児童。

### (3) 本単元におけるオリンピック・パラリンピック教育理念との関連

重点的に育成する五つの資質		4つのテーマ×4つのアクション (本時)
スポーツ志向	スポーツへの興味関心 フェアプレーやチームワークの精神 心身ともに健全な人間に成長	スポーツ×学ぶ

※2学期は、ふろしき体験や全校のスポーツ車椅子体験、留学生との交流などがある。年間を通して、オリンピック・パラリンピック教育実施方針に沿った活動を意識して設定する。

(4) 他単元及び他教科との関連 (他教科・他領域や日常的な指導等との関連)



1 学期は、国旗の学習を中心に、英語活動、学級活動、図工などを関連付けた指導を行ってきた。また、学校全体でリオオリンピック・パラリンピック閉会式のセレモニーで使われる人文字撮影に参加協力したり、全校活動としての校内ちぎり絵国旗作りも行ったりした。

2 学期は、リオ大会直後であり、競技大会を通して感じたことを表現する活動として、図工でシルエット・ミュージアムを設定している。また、中学年以上が世界に目を向ける活動以外に、2 年生ではふるしきや剣玉など、伝統文化にも目を向け、体験を通して学ぶ機会を設定している。全校競技車椅子体験や留学生との交流、アスリートを招聘した授業を予定しているが、それらをオリンピック・パラリンピック精神に関する学習を中心にしながら関連させ、充実した学びにしていきたい。

本題材では、図画工作の学習を通し、4 つのテーマのうち、「スポーツ志向」に関わる学習を設定し、アクションは「学ぶ」を設定した。

(5) 本時の指導におけるユニバーサルデザインの視点について

本時の授業計画の組み立て (ねらいの達成から逆算)

授業展開	活動の様子	授業のユニバーサルデザイン視点
ねらいの達成 ↓	コラージュを完成させる。	①完成を大いに褒めたたえたり、完成間近な児童を励ましたりする。 【達成感を味わわせる】 ②教師が作品のよさを児童にフィードバックし、写真を撮るなどして、さらにウキウキさせる。【共有化に向けた手だて】 ③早く終わった児童には用意していた追加課題を勿体ぶって与える。 【個人差への対応】
展開後半 (製作中) ↓	自分が意図したことを主体的に表現する。	①前時から、作業スピードの差があることを前提にした課題の設定を行う。【個人差への対応】 ②糊付けが苦手な児童には、貼り方について個別に指導する。
展開前半 (模索中) (試行中) ↓	自分が表現したいことを思い描きながら、手順に沿って作業を進める。	①作業時間の目安を掲示し、授業全体の見通しを見える形で示す。 【時間の構造化】 ②モデルを提示し作品イメージをもたせる。【視覚化】 ③実物投影機とモニターを活用し、手元を見せながら指導することで、共通の作業イメージをもたせる。【視覚化・作業化】 ④コラージュのパーツを用意し、イメージがわからない児童も作品作りに参加できるようなツールを用意する。【スモールステップ化】

授業の導入	課題と手順を正しく捉える。	<p>①授業前に準備を済ませ、机上整理と製作しやすい道具配置の仕方を統一し、全員のスタートを揃える。【<b>ルールの明確化</b>】</p> <p>①児童に45分間の区分けを意識させるために、タイマーや板書を活用し、掲示物で段階ごとの課題をシンプルに捉えさせる。</p> <p>②教師作成の「コラージュ」のモデルを作り、イメージをもたせ、ワクワクさせる。【<b>視覚化による意欲喚起</b>】</p> <p>③制作手順を分かりやすく掲示し、できそうな気にさせる。【<b>展開の構造化による意欲喚起</b>】</p>
個別支援	手先の操作に苦戦する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローラーやスポンジを使わせて見通しをもたせる。(時前に行う。)</li> <li>接着することが難しい児童への手立てとして、雑紙や液体のり、スティックのりなどを用意する。</li> </ul>

## 6 題材の指導計画(全6時間)

次	時	学習のねらい	学習活動・予想される児童の考え	評価
1	1	オリンピック・パラリンピック競技を想像し、自分の作品をイメージしてシルエットを選ぶ。	<p>さまざまな競技を知り、製作の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな競技があるのかを知る。</li> <li>シルエットクイズを行う。</li> <li>製作するシルエットを選ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんの競技があることを知る。</li> <li>【<b>関心・意欲・態度</b>】</li> <li>シルエットをよく見て、競技の面白さや楽しさを感じ取っている。</li> <li>【<b>鑑賞</b>】</li> </ul>
2	2	楽しみながらコラージュの素材を集める。	<p>製作する競技にあったコラージュの素材をはさみで切り取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コラージュの素材を用意する。</li> <li>コラージュの素材をはさみで切り取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はさみの使い方を意識しながら製作している。</li> <li>【<b>技能</b>】</li> </ul>
	3	競技のイメージに合った色や描画材を考え、着色する。	<p>競技のイメージを色や形で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローラーや刷毛、スポンジなどの描画材料を用いて着色する。</li> <li>スポンジを使うと、ブツブツした模様ができる。</li> <li>ローラーや刷毛を使うと一気に着色できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現する競技のイメージを色や形で表現しようとしている</li> <li>【<b>発想・構想</b>】</li> </ul>
	4 本時	競技をイメージしながら、コラージュの素材を作品に貼りつける。	<p>競技をイメージしながら、雑誌の切り抜きや画用紙、折り紙をコラージュする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌の切り抜きをコラージュする。</li> <li>早く終わった児童は画用紙や折り紙で装飾する。</li> <li>雑誌の切り抜きの周りに画用紙や折り紙を貼ると目立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来上がりを確認しながら必要な材料・道具を選択し、製作している。</li> <li>【<b>発想・構想</b>】</li> <li>のりをはじまでぬり、はる事ができている。</li> <li>【<b>技能</b>】</li> </ul>
3	5	作品の紹介文を考えたり、発表練習をしたりする。	<p>紹介文を考えたり、発表練習をしたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品カードを作る。</li> <li>発表練習を見合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介文を作ることが出来る</li> <li>【<b>発想・構想</b>】【<b>鑑賞</b>】</li> </ul>
	6	友人が製作した作品を鑑賞する。	<p>学年で作品を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を見合ったり、ポーズのまねをしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じたことを話したり、友人の話の聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さに気付く。【<b>鑑賞</b>】</li> </ul>

## 7 本時の学習

(1) 本時の目標 (4/6時間扱い)

競技をイメージしながら、コラージュの素材を作品に貼りつける。

(2) 展開

過程	学習活動と予想される反応 ・予想される反応	●指導上の留意点 ◆個別の配慮 ◎評価【観点】(方法)	☆ユニバーサルデザインの視点
導入 5分	0 学習用具の準備を済ませる。	●床に道具や作品、貼りたいものを出しておく。	【ルールの特典化】
	1 本時の学習内容を確認する。 ・はやく作りたがる。 ・楽しみにして待つ。 ・うまくできるか心配する。	●どのように考えて製作するかを確認する。 ●道具の安全な使い方や置き方を確認する。 ●参考作品を掲示したり、実際に活動をやってみせたりすることで、児童に「できそう。作りたい。」と感じさせる。	【展開の特典化】  【視覚化による意欲喚起】  【展開の特典化による意欲喚起】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">シルエットにコラージュをしよう！！</div>			
展開 30分	2 コラージュをする。 ・作品完成が早く、時間が余る。 ・糊付けがうまくいかない。 ・はさみがうまくつかえない。 ・配置がうまくいかない。 ・設定時間近くで完成させる。	●コラージュの素材を作品の上に置き、作品の出来上りをイメージさせて製作させる。 ◆パーツの端まで糊を付けさせる。 ◆糊を付けすぎてしまったら、指でのばす。 ◆コラージュの素材は枠からはみ出さないように貼りつける。 ◆はさみがうまく使えていない児童には、刃の奥を使わせる。 ◎コラージュのパーツを作品に置いて出来上りを確認しながら製作している。【思考・判断】(行動観察) ◎糊を端まで塗り、貼ることができる。【技能】(行動観察、作品) ●早く終わった児童には、画用紙や折り紙をコラージュさせる。 ●机間指導で、作品のよさを児童に伝える。	【時間の特典化】 【スモールステップ化】     【ねらいの特典化】   【個人差への対応】  【共有化に向けた手だて】

まとめ 10分	<p>3 交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形を選んだ理由を伝える。</li> <li>・色や形の意味を伝える。</li> </ul> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>5 片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体で今日の活動の感想を伝え合わせる。</li> <li>●次時に見通しをもたせる。</li> <li>●作品は乾燥棚へ入れる。</li> <li>●道具から片づけをさせる。</li> </ul>	【共有化】
------------	---	--	-------

## 8 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">シルエット・ミュージアムへようこそ！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">めあて…シルエットにコラージュをしよう！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">せいさくほうほう ①場所を決める。 ②のりをぬる。 ③しっかりはる。</div>	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: auto; height: 150px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">作品を掲示する</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">つくる時間</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">かたづけのほうほう ①どうぐ ②さくひん ②ごみひろい ③つくえ</div>
--	--	--